

催吐リスク moderate

腸 RAM8+CPT180+I-LV200+5FU400

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg		1
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	100 mL 30	1
サイラムザ	8	mg/kg	生食	250 mL 60	1
イリノテカン	180	mg/m ²	生食	250 mL 90	1
レボホリナート	200	mg/m ²	生食	250 mL 120	1
5-FU	400	mg/m ²	生食	50 mL 全開	1
5-FU	2400	mg/m ²	生食	mL 46h	1-3

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

II. 投与基準 (例: 白血球 $\geq 2000/m^3$ 、好中球 $1000 \geq mm^3$)

好中球 1.5×10^3 以上、血小板数 100×10^3 以上、ヘモグロビン 9g/dL、クレアチニンクリアランス 50mL/min 以上、総ビリルビン ULN 以下、AST 及び ALT が UNL の 3 倍以下 (アミノトランスフェラーゼの上昇が肝転移に起因する場合は ULN の 5 倍以下)、FOLFIRI に関連する消化管毒性グレード 1 以下

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3以上の肝中葉減少時、次回より投与量を40%に減量)

FOLFIRI

- 肝中葉減少症グレード3以上 (1300 μ L未満)、IRI及び、5FUを1段階減量する
- 肝中葉減少症グレード4以上 (500 μ L未満)、IRI及び、5FUを2段階減量する
- 血小板減少症グレード3以上 (50,000 μ L未満)、IRI及び、5FUを1段階減量する
- 血小板減少症グレード4以上 (25,000 μ L未満)、IRI及び、5FUを2段階減量する
- 発熱性肝中葉減少症、次サイクルにおいてIRI及び、5FUを2段階減量する
- 下痢グレード2or3、IRIを1段階減量する

FOLFIRI初回投与時時の減量基準

- 5FU: 紅血球フェリン3mg/kg以下であれば10%投与可能
- IRI: 血清ビリルビン \times 1.5-3.0 \times 施設定常値の場合、20-25%減量

サイタムザ

- 真血球: 発熱性のグレード2、又は発熱性のグレード3以上
- ナイラムザ投与前の真血球は4mg/kgに減量する
- 減量後に再発する場合は5mg/kgに減量する
- 発熱性真血球でなくとも真血球140mmHg以上、白血球120mmHg以上の場合は隣症例による真血球コントロールを優先する
- 嘔吐回: 1日量5回以上
- ナイラムザ投与前の嘔吐回数は4mg/kgに減量する
- 減量後に再発する場合は5mg/kgに減量する

【参考資料】

各薬剤の用量減量 ①初回投与量、②1段階減量、③2段階減量、④3段階減量

- IRI: ①100mg/dl、②150mg/dl、③200mg/dl、④300mg/dl
- 5FU 減量率: ①400mg/dl、②200mg/dl、③0mg/dl、④0mg/dl
- 5FU 持続時間: ①2,400mg/dl、②2,000mg/dl、③1,600mg/dl、④1,200mg/dl

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 肝中葉減少 Grade3以上 97.8%)

初期血液検査時 0.8%、初期血液検査時 4.2%、Infection-related 0.8%、消化管穿孔 1.0%、出血 1.8%、肝中葉減少症 98.4%、発熱性肝中葉減少症 3.4%、血小板減少症 2.7%、ラッセル心不全 0.6%、副腎不全 0.2%

添付参考資料 (文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

大腸癌治療ガイドライン (医師用 2016年版) p32 (強力な治療が適応となる患者) 二次治療として推奨

Tabernero J, Yoshino T, Cohn AL, et al. Ramucirumab versus placebo in combination with second-line FOLFIRI in patients with metastatic colorectal carcinoma that progressed during or after first-line therapy with bevacizumab, oxaliplatin, and a fluoropyrimidine (RAISE): a randomized, double-blind, multicenter, phase 3 study. Lancet Oncology 2015; 16: 499-508.